

『タブレット型パソコン活用上のルール』について

木津川市教育委員会

令和4年6月改訂

タブレット型パソコンは新しい時代の学びのツールの一つです。上手に活用していくことで、学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていけるようになります。タブレットを文房具の一つとして上手に安全に使うためにも、『タブレット型パソコン活用上のルール』を守り、「安心・安全・快適」に活用していきましょう。

1 目的

- ・学校で貸し出すタブレットは、学習活動のために使うことが目的です。学習活動に関わることにのみ使うようにしましょう。

2 使用するとき気をつけること

- ・無くしたり、落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分気をつけましょう。
- ・持ったまま走ったり、地面やカバンの下においたり、カバンの底に入れないようにしましょう。また、日光の下やストーブの近くなどにはおかないようにしましょう。
- ・水をかけたり、湿気の多いところでは使わないようにしましょう。
- ・画面は指やタッチペンで触れるようにします。えんぴつやペンでふれたり、落書きしたり磁石をひっつけるなどは絶対にしないようにしましょう。

3 学校で使う場合

- ・学校でタブレットを使うときは、先生の指示をよく聞きましょう。
- ・先生が話をしているときは手を止めて、先生の話をよく聞きましょう。
- ・休み時間や放課後に使う時も、先生が認めたことにのみ使しましょう。



4 家庭に持ち帰って使う場合

- ・かばんの中でタブレットがつぶれてしまわないように、入れ方を工夫しましょう。
- ・登下校中は、タブレットをかばんから出さないようにしましょう。また、紛失・盗難・水没・落下などに注意しましょう。
- ・タブレットがインターネットに接続できる時間は、小学校・中学校ともに『午前6時から午後10時まで』です。
※学習に関することに限り、インターネットを活用しましょう。
- ・タブレットを使用する時間は家の人とよく話し合い、長時間使用せず細かく休けいしながら使しましょう。
- ・就寝する60分前には使用を終了しましょう。午後10時までインターネットに接続できますが、遅くまで使用しないようにしましょう。

5 保管

- ・学校での保管は、各教室の充電保管庫に入れます。先生の指示があり、違う場所に保管する場合は、壊れないように置きましょう。
- ・家庭で保管するときは、家の人の目の届く安全なところに置いておきましょう。置き場所は、家の人と相談して決めましょう。

6 健康のために

- ・目の健康を守るために、30分画面を見続けたら、30秒は遠くを見て目を休めましょう。
- ・タブレットを使用するときは、部屋を明るくし、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないように気をつけましょう。(目を30cm以上離しましょう)
- ・時々遠くの景色を見るなどして、目を休ませましょう。

7 安全な使用

- ・インターネットには制限がかけられていますが、もしもあやしいサイトに入ってしまったときはすぐに画面を閉じ、先生や家の人に知らせましょう。
(学習に関することに限り、インターネットを利用します。)

8 個人情報等

- ・自分が借りているタブレットを他人に貸したり、使わせたりしません。
- ・自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号など)はインターネット上に絶対に書き込んだりしません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることも絶対に書き込みません。
- ・パスワードは、先生や保護者以外の他人には、絶対教えません。

9 カメラでの撮影

- ・学校で使用する場合は、先生が許可した時のみカメラを使いましょう。
- ・カメラで撮影するときは、人が映り込まないように注意しましょう。人が映っている写真を撮影したい場合は、勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらいましょう。

10 データの保存

- ・学校のタブレットで作ったデータやインターネットから取り込んだデータは、学習活動で先生が許可したものだけ保存しましょう。

1 1 設定の変更

- ・デスクトップのアイコンの並び方や位置、背景の画像、色などタブレットの設定は、勝手に変えないようにしましょう。
- ・関係のない写真や動画を記録したり、アプリを勝手にインストールしたりしないようにしましょう。

1 2 不具合や故障

- ・タブレット本体やインターネットを使っていて、何かおかしいと思ったときは、すぐに先生や保護者に知らせましょう。

1 3 使用の制限

- ・『タブレット活用のルール』が守られないときは、タブレットの使用を止める場合もあります。

1 4 進級・卒業・転出時

- ・タブレットは卒業まで同じものを使うので、大切に扱きましょう。
- ・アカウントは小学校6年間と中学校3年間の計9年間使い続けるため、他人に伝えないようにしましょう。
- ・木津川市からの貸与となりますので、卒業・市外への転出時には本体・付属品を学校へ返却しましょう。

<Microsoft Teamsを使ってオンライン授業などを行うときの注意>

Microsoft Teamsはオンラインでの学習に活用できるアプリです。使用する人みんなが上手に、気持ちよく学習に活用できるようにしましょう。

1. 教室の授業と同じように、ルールや注意を守って受けるようにしましょう。
2. 服装や背景にも気を付けましょう。中学生は、制服で参加します。
3. 教科書、資料集、ノート等、必要なものは授業開始時刻までに準備しておきましょう。
4. マイクは、通常OFFにしておき、発言時のみONにしましょう。
5. 質問等がある時は、先生の指示の後に行きましょう。もしくは、「挙手ボタン」で伝えて指名を受けてからにしましょう。
6. 授業の様子を自分のスマホで撮影したり、ネット上にアップしたりすることは絶対にしないようにしましょう。
7. インターネット上の書き込みをする前に、読み手が嫌な気持ちにならない・誰かを困らせてしまうことのない内容か、しっかり考えましょう。



○保護者の皆様へ

タブレットの持ち帰りを行うにあたり、上記タブレットの活用のルールを指導していますが、タブレットを家庭での学習に利活用するために、お子様と家庭での活用のルールを一緒に考えていただき、見守っていただけたらと思います。

家庭でのタブレット PC の活用

- ・タブレットを使用する時間など、家庭でのタブレット活用のルールをお子様と相談してください。
- ・タブレットがインターネットに接続できる時間は、小学校・中学校ともに『午前6時から午後10時まで』です。(就寝する60分前には使用を終了)
※学習に関することに限り、インターネットを使用するように指導しています。

故障・紛失等

- ・タブレットの破損・紛失を防ぐため、家庭での置き場所を、お子様と相談して決めてください。
- ・タブレットは端末ごとにウイルス対策、インターネットのフィルタリングを行っています。
- ・故障・紛失した場合
 - ①故障や破損、盗難、紛失などがあった場合は、速やかに学校に申し出てください。
 - ②盗難及び家庭外での紛失の場合は、警察に届け出て証明を受けてください。(証明書のコピーを学校に提出していただきます)
 - ③故障や破損の場合、学校を通じて、修理の手配などを行いますので、個人で修理は行わないでください。
※家庭に持ち帰った場合の紛失や故意の破損については、弁償をしていただきます。
(電源コードなどの付属品を含む)

インターネットにつなぐとき ～守ってほしい、大切なこと～

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くても複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



2 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、一人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



- 「パスワード」について：長くて複雑なほど盗まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせたものにしましょう。他で使っているパスワードと同じものを使い回さないこと。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋認証なども組み合わせれば、もしパスワードが盗まれても守られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持っていないもの（例：スマホに届くショートメッセージ）」「あなた自身を表すもの（例：指紋）」といった別の要素の方法を組み合わせるとログインすることを「多要素認証」と言い、さらに強く守る方法になります。

「インターネット」が持つ性質

開かれた世界であるインターネットは、次のような点で、閉じた世界とは決定的に違います。

隣の人も世界中の人も、いい人も悪い人も、あなたを見ることができる

あなたから世界中のあらゆる人に開かれていると同時に、世界中のあらゆる人からあなたにも開かれています。これまで出会わなかったような悪い人もいて、あなたを攻撃してくるかもしれません。



一度流出した情報は永遠に残ってしまう

パソコンやスマホなどにある写真や友達とのやりとりや大事な情報は、一度流出したら、インターネットを通じてあなたの手の届かない世界の隅々まで広がります。完全に消すのは難しく、発信する前に一回手を止めて考えましょう。



インターネットの「悪い人」は、何をしてくるのか

インターネットの世界で自分を守るには、「悪い人」が何をしてくるのか、代表的な攻撃の手段を知っておくことが有効です。例えばパスワードについては、悪い人は右の図のように見破ってやろうなどと考えています。これを見ると、確かにパスワードは長くて複雑にし、使い回してはいけないとわかります。同様に、メールを使った攻撃やアップデートされていないパソコンへの攻撃などで悪い人が何をしてくるのか想像してみると、「なぜ」そういう注意が必要なのかがより分かりやすくなります。

